第５７回（第４３回定例会）柏市第二清掃工場運営委員会議事録

１　開催日時

令和８年１０月９日（金）午後２時００分～午後３時００分

２　場所

柏市第二清掃工場３階中会議室

３　出席者（敬称略）

委　員：佐々木健，井原智彦，佐田幸一，飯本武志，櫻井健郎，篠田 操，篠田 武，杉本政章，松崎美佐子，磯部晴子，池田晶生，石橋博文，有澤秀子，田中友子（１４名）

事務局：環境部	部長	稲荷田
南部クリーンセンター	所長	奥村，所長補佐　加藤
	主査	山田
	主任	清水，油原
清掃施設課	課長	大滝，課長補佐　成田
	主任	宮川
柏環境テクノロジー㈱	所長	徳田
（以下，「KKT」という。）	副所長	深野，運転責任者　佐藤
	環境分析責任者	日暮
富士産業㈱		阿部

４　議題

第１　監視項目（令和８年２月～令和８年７月分）　…… 1～16
第２　周辺環境監視項目　…… 17～20
第３　報告事項　…… 21
第４　放射性物質対応経過　…… 22～24
第５　実施状況及び今後の日程　…… 25～26

５　その他

議題

第１　監視項目（令和８年２月～令和８年７月分）

(1) 事務局から資料に基づき説明し，了承を得た。

(2) 質疑応答

石橋委員　各種測定結果について，問題ないことがわかるが，測定日は天候や気温，風速の影響を考慮しているか。

事務局　気体の体積は，気温や圧力で変化するため，標準状態を考慮して濃度換算している。具体的には，排ガスの単位にあるＮ表記は標準状態を示しており，摂氏温度０度，気圧 101kPa に換算した濃度になっている。

飯本委員　測定日について，４月７日と７月７日があるが，なぜその日を選んだか教えてほしい。例えば，考慮すべき条件が一番厳しい日だったのか，平均的な日だったのか，様々な説明ができると思う。

事務局　測定日については，機械設備の点検，整備などの工場運転管理スケジュールを考慮して決めている。点検，整備の実施日と重複しない日に，各種測定を行っている。

飯本委員　測定しやすい日も選ばれると思うが，その日の運転状況を確認した上で，測定値が適正と判断していると認識してよいか。

事務局　お見込みのとおり。

第２　周辺環境監視項目

（１）事務局から資料に基づき説明。了承された。

（２）質疑応答

篠田武委員　大気測定の常時モニタリングに関して，これは定点的に置かれた機械で毎日監視しているのか，また，２日以上連続しないこととあるが，１日でも基準を超過したことがあるか教えてほしい。

事務局　固定した場所に測定機械を設置しており，常時測定をしている。また，測定値について，基準を超えた日はない。

篠田武委員　１日もないのか。

事務局　資料に記載している数値が最大値になるため，これ以上高い値は検出されていない。

篠田武委員　基準を超えた日は 1 日もなく，例えば二酸化硫黄では，１日も 0.04ppm より高い値はないということか。

事務局　お見込みのとおり。

松崎委員　井戸水調査の PFOS 及び PFOA について，世間で話題になっていると思うが，PFOS 及び PFOA が全くない地域も存在するのか。

事務局　今回評価してるのは，上水道水源地井戸の水質検査であり，検出自体も

されていない状態である。加えて，上水道の水源に使用される地下水は，浄水施設で適正に処理されるためご安心いただければ幸いである。一方で，柏市の公共用水域の一部では，比較的高い数値が検出されているのも事実である。

佐田委員　補足説明と事務局への提案をさせていただきたい。大気の常時モニタリングの評価方法については，大気汚染の環境基準を準用していると思う。大気汚染の環境基準は，全国に千地点以上存在する一般局及び自排局での測定値を評価している。柏市内でも測定局が数地点存在するため，測定局の測定値と当工場の常時モニタリング結果を比較すると理解の助けになると考える。

また，PFOS 及び PFOA については，発生源がどこにあるかが重要だと思う。PFOS 及び PFOA は撥水性が高いため，自動車工場などの撥水加工をする工場で使用される可能があるが，ごみを焼却する当工場では使用しないものと考えている。事務局として，PFOS 及び PFOA を含むものは使用していないことを説明できれば，周囲の方々も安心できると思う。

事務局　今後の説明の参考とさせていただく。

第３　報告事項

（１）事務局から資料に基づき説明。了承された。

（２）質疑応答

磯部委員　灰溶融炉は運転なしとあるが，灰溶融炉を稼働すると放射性物質の濃度が高くなるのか。また，灰溶融炉の役割と今後の稼働予定を教えてほしい。

事務局　灰溶融炉は 10 年以上稼働しておらず，使用できるかも分からない状況である。また，現時点で稼働させる予定もない。灰溶融炉では，焼却灰を 1200 度程の高温で溶融させ，スラグを生成させていた。溶融後は体積が小さくなるため，放射性物質の濃度が高くなった。

石橋委員　焼却量について，最大焼却量はいくつか。余裕を持って焼却しているかが気になる。

事務局　定格の能力は１炉あたり１日で 125 トン焼却できる。しかし，ごみ焼却時の蒸気量等を考慮して運転しているため，１炉あたり１日で 110 トンから 120 トン程度で焼却している。

池田委員　停止期間が６月２日から６月２３日までとあるが，この期間は完全に停止しているのか。

事務局　停止期間は，完全に施設を停止している。

池田委員　停止期間はもとより計画していたのか，それともごみ量が少ないため停止したのか。

事務局　毎年６月は，定期点検のため停止している。

池田委員　当該期間に停止しても，焼却には問題がないと理解してよいか。

事務局　お見込みのとおり。
磯部委員　焼却灰の搬送先はどこか。
事務局　焼却灰について，現在は千葉県外の民間の最終処分場に搬出をしており，品質検査をした上で安全を確認して埋め立て処分をしている。埋め立て先は複数あるが，受け入れ先との協定もあり，千葉県外ということまでの公表で扱わせていただきたい。

第４　放射性物質対応経過
（１）事務局から資料に基づき説明。了承された。
（２）質疑応答
篠田操委員　指定廃棄物について，8,000 ベクレル以下になるまで保管し続ける必要があると思うが，市内で第二清掃工場のみ建屋内にも保管している。工場建屋内の指定廃棄物もボックスカルバートに入れた方がよいと思うがいかがか。
事務局・清掃施設課　指定廃棄物の保管については，本来であれば国の責任で県内で一か所に集約することになっている。本件について，柏市は国に要望し続けているが，震災から１５年経った現在まで敷地内で仮保管している状況である。引き続き国に対して，一か所に集約することを強く要望するとともに，仮保管中はどのように安全に放射性物質を管理するかを再検討する必要があると認識している。皆様のご意見を伺いながら，方策を検討していきたい。
松崎委員　指定廃棄物の仮保管について，当初は５年間という約束であったが現在に至っている。全国的に大きな地震が続く中で，近辺で大きな地震が起きた場合，どのように安全を確保するのか。また，マニュアル等はあるか。
事務局・清掃施設課　仮保管庫（ボックスカルバート）の設置にあたって，耐震性が十分にあることを確認しているが，何が起こるかは分からないため，緊急時の連絡体制等についても再確認を行う。

第５　実施状況及び今後の日程
（１）次回は令和９年３月に開催予定
（２）質疑応答　無し

その他
（１）事務局からの報告事項なし
（２）委員からの意見
篠田武委員　柏市内には清掃工場が３つあると思うが，そのうちの１つである旧沼南エリアの清掃工場が当工場に移るという話を聞いたのだが，事実かどうか教えてほしい。

稲荷田部長　旧沼南エリアのごみに関しては，白井と鎌ケ谷，柏市で設置している一部事務組合でごみを処理している。柏市が沼南町と合併して以降，現在まで一市二制度のごみ処理となっていることが長年の課題である。令和４年頃から，柏市と一部事務組合で，旧沼南エリアのごみ処理は，柏市の清掃工場で処理する方向で協議をしている状況である。

篠田武委員　具体的に決定した事項はないと認識してよいか。

稲荷田部長　お見込みのとおり。

以上